

令和8年度オンライン国際交流事業業務委託に係る質問への回答

	質問内容	回答
1	本件、昨年度実績があれば、落札金額、落札した業者、本業務を実施した日時をご教示ください。	公開情報より、最優秀提案者はHelloWorld株式会社です。
2	実践校も1人1台の端末を用意し、交流するということでしょうか。	1台の端末を小グループごとに使用し、交流します。実践校においては、学習者用1人1台端末があるので、受注事業者による用意は不要です。交流相手校については、対応をお願いします。
3	実践校相手校共に2～3名の小グループとのことですが、オンライン上の交流校と合わせて4～6名のグループを作り、コミュニケーションを取るという認識でよろしいでしょうか。	ご認識の通りです。
4	15クラスとのことですので、15クラスが2回ずつ、計30回行うということでしょうか。	ご認識の通りです。
5	50分授業の中でとのことですが、前後の時間も鑑み、40分程度でできるプログラムを用意する認識でよろしいでしょうか。	ご認識の通りです。
6	当日、オンライン上で全体が集まって指示を出したり、グループに分かれたりし、授業を進めていくという認識でよろしいでしょうか。	ご認識の通りです。
7	8校の中学校50分授業の中で実施とありますが、全校同日・同時限開始希望か？ 同日でも時限は分けての実施可か？	実践校の希望を優先しますが、同日・同時限の交流は避けていただきますようお願いいたします。
8	相手の生徒が数校重複するでもよいか？	問題ありません。
9	利用するツールに指定はあるか？（Zoom・Google Meet・Teamsなど）	Web会議ツールはZoomを基本としますが、実践校の環境に応じて調整可能です。
10	参加生徒は事前にグループ分けをする他、どのような準備をする予定か？ （話したいトピックなど事前にまとめておくのか・こちら側でトピック決め等設定、事前課題を出したほうがよいのか？）	トピックや事前課題含め、生徒が豊富な英語で話し、グローバルな視点や異文化理解を深める工夫、積極的なコミュニケーションを促す提案をお願いします。
11	各グループは子供だけで進行をさせるか？ 各グループに大人（ファシリテーター）は付けたいか？	各小グループに大人（ファシリテーター）は不要です。
12	小グループの人数を「2～3人」と記載がございますが、こちらの人数は固定となりますでしょうか。	実践校の希望を優先しますが、生徒が豊富な英語で話すことができるよう、小グループで行います。
13	記載の「報告会」につきまして、対象者、開催規模の案が御座いましたらお伺いできますでしょうか。	「報告会」については、市町等教育委員会指導主事及び中学校外国語担当教員等を対象に、オンラインまたは対面で、最大50人程度を想定しています。
14	実践校が決定される時期をご教示ください。	6月中旬（予定）です。
15	実際にオンライン国際交流授業が開始される想定時期をご教示ください	実践校の希望を優先しますが、第1回交流会は7月～10月を想定しています。
16	三重県教育委員会、市町村教育委員会、実践校教員の三者合同事前ミーティングは、オンラインで開催することは可能でしょうか。	可能です。

17	実践校と交流相手校との事前打ち合わせについて、複数校を対象とした合同説明会を実施することも可能でしょうか。	実践校の希望を優先しますが、可能です。
18	企画提案書のページ数に制限はございますか。	制限はありません。
19	契約実績証明書に関しては、オンライン国際交流を業務内容として含む契約を記載するという形でお間違いないでしょうか。	ご認識の通りです。
20	提出書類（企画提案書、契約実績証明書など）について、契約を締結する会社（グループ会社除く）の実績のみ記載するという認識でよいか。	ご認識の通りです。
21	生徒用ヘッドセット（イヤホンとマイクが一体となったもの）は受注業者が用意をするという認識で間違いないでしょうか。	実践校にある場合は、受注業者の用意は不要です。
22	令和7年度の契約金額（税抜）をご教示ください。	契約金額については、情報を公開していません。
23	実施計画書の作成・提出時期はいつ頃になりますでしょうか。また、計画書提出後にスケジュールや相手校（国）の変更が発生した場合は、どのように対応すればよろしいでしょうか。	提出時期については、契約締結後、できる限り速やかに提出いただきます。変更対応については、変更が生じた場合は、速やかに協議のうえ対応を決定します。
24	海外との時差や、相手校の授業スケジュールによっては、実践校の授業時程を前倒し、後ろ倒し、短縮などの変更をすることは可能でしょうか。	相手校の事情に応じて、実践校の授業時程を調整することは可能ですが、6時限目以降等、大幅な変更はできかねます。
25	実践校と相手校において、例えば2～3名の生徒に対して1名の生徒といったように、交流参加生徒の人数比が異なる場合でも問題ございませんでしょうか。	実践校の生徒が豊富な英語を話す機会を確保できるようにしてください。
26	「2単位時間の計画」というのは、英語の授業内（50分）の交流を2回行う計画という意味で認識してよろしいでしょうか。	ご認識の通りです。
27	実践校1校につき、学級ごとに異なる相手校や国との交流となることは許容いただけますでしょうか。	問題はありません。
28	実践校の1人1台端末について、通信環境の観点から、最大何名まで同時に交流を実施することが可能でしょうか。	通信環境により異なりますので、詳細は学校ごとに確認が必要です。
29	Web会議システムの利用に伴い、実践校の端末でセキュリティ解除等の対応が必要となった場合、教育委員会様にご対応いただくことは可能でしょうか。	必要に応じて、県事務局が実践校所管教育委員会と実践校と連携して対応します。
30	「次年度以降も取り組みを継続できるノウハウの提示」について、報告書や報告会以外に想定されている内容はどのようなものでしょうか。	報告書や報告会に加え、来年度以降、オンライン国際交流を継続したい学校や市町等教育委員会等への指導及び助言などを想定しています。
31	実施校、相手校双方の都合や天災等により、やむを得ず日程調整がつかない場合は、どのように対応すればよろしいでしょうか。	できる限り速やかに、代替日程の調整など柔軟な対応をお願いします。
32	交流当日、現地での支援は必須でしょうか。オンラインでの対応でも可能でしょうか。	現地支援は必須ではありません。スムーズな運営が可能であれば、オンラインでの対応も可能です。

33	プレゼンテーションの実施方法について、対面またはオンラインとのことですが、形態はこちらで選択できるのでしょうか。それとも別途通知になりますでしょうか。	参加事業者の希望形態を選択いただけます。
----	---	----------------------